

第5回 定例ワールドカフェ 感想 (2022.4.22 現在)

話題提供：子育て支援に対する福祉行政からの提言

提供者：新原有揮さん (堺市南区子育て支援課 福祉職)

当日参加者：15名

感想 (Google Form) 回答者：9名 (分野_教育3名、医療3名、福祉3名)

- ・やっぱり未然防止、予防にいきつくんですね。さらに突き詰めると、リスクの生じている人を呼んで教育するのは、こういう人は教育すると法整備されないと、結局来て欲しい人が来てくれない、となる。なので学校で教えきってしまおう、と。私も同じ思考経路を辿りました。では、何をどう教えたら、数年後十数年後まで教えたことが生きるか。これを今後共有しながら、いろんな立場から研究していけたら、と思います。
- ・堺市がしている連携本当に大切です。組織、組織が点、点と繋がるのではなく、組織～組織と線で繋ぎ、チーム組織になりたいです～
- ・新原さんの説明の中で、市町村はかかりつけ医、児相は総合病院、というのがわかりやすかったです。話にもあったように学校は市町村の方に相談したいことがあっても即通告になることもあるので、もっと気軽に定期的に相談できるシステムがほしいと思いました。また、講演会をしても聞いてほしい保護者は来ない、というのは学校も同じです。来るのは入学式卒業式くらいです。それも来ない親もいます。今の子育てはこうなっているというのをたくさんの人に知ってもらおう機会がほしいです。そしてどこかサポートになげられたらいいなと思いました。
- ・貴重な機会をありがとうございました。時間いっぱい、ディスカッションの時間少なくなってすみませんでした！来年度におかい、整理する時間をいただけてありがたかったです。
- ・この度は、地域の活動内容内容を知る事ができ、大変関心をもって聞かせて頂きました。やはり、行政、地域や教育、医療など様々な角度から、子供を取り巻く支援が必要であると感じました。ありがとうございました。不登校の子供達の定時制高校の先生とお話してきたのも良かったです。また、ワールドカフェの講義で、そういう子供達の様子も聞いてみたいなと思いました。
- ・新原さんのお話を聞いて、役所の内部にこんな思いをもって仕事してくれる人がいる自治体は幸せだなと思いました。私の住む地域では事件が続いたこともあって、要対協がやっと本来の機能に近づきつつありますが「通告者にはなりたくない」という機関が多いです。どこからの通告かは伏せてほしいという学校園がそれでも通告をしてくるため、対応する側としては中途半端なものになってしまうこともあります。学校から聞いたとは言わずに指導してほしいと言われても、何ができるのでしょうか。それでも、情報を上げてくれないよりはましかもしれませんね。今新原さんが進められている事業がうまくいけば、それは堺市南区だけでなくモデルケースとしてほかの地域にも広がっていくことになるは

ずです。そうなることを信じて、成功をお祈りしています。

- ・貴重なお話をありがとうございました。教育現場と福祉の垣根を超えた、コラボ支援を形にされるという「これから」のお話を聞いて、とても感動しました。小学校低学年からのレジリエンスワークや子育て前向きプログラム等の事前予防型の支援について、もっとその先の話も聞いてみたいと思いました。第2弾もよろしくお願いします！
- ・子育て支援が虐待予防に大きな役割を果たしているという実践が、とても参考になりました。同じような課題がどこにでもあるが、やはりキーパーソンがいることがとても大きいと思います。自分のところでは何ができるのかを改めて、考える機会になりました。有難うございました。
- ・これまでは行政という組織の厚みや文化、手順、ルールは外部からは見えないところが大きかったのですが、こうして一堂に介してお話を聞くことで、同じ熱を持った仲間がおられるんだと思えて、元気や勇気をいただけています。いつもオープンチャットで有意義な情報提供もありがとうございます。顔を見ながらお話を聞く、この定例ワールドカフェも重要だなと改めて思いました。